

第18回

品川区世論調査 あ ら ま し

この小冊子は、2008(平成20)年に実施した「第18回世論調査」の要約版です。今回は、経年変化をみる定住性や重点施策などの項目に加え、生活習慣病、景観、よりよいまちづくりなどの項目についてもたずね、今後の区政運営にあたり貴重な資料として活用してまいりたいと考えております。

ご協力いただきました区民のみなさまには心より御礼を申し上げますとともに、調査結果の概要をお知らせいたします。

調査の内容

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 スポーツと生活習慣病について
- 4 介護保険について
- 5 緑と景観について
- 6 広報と情報化について
- 7 区議会の広報について
- 8 よりよいまちづくりについて
- 9 重点施策について

調査概要

調査対象：品川区在住の満20歳以上の男女個人
(平成20年6月1日現在)

抽出方法：層化2段無作為抽出法

対象者数：1,500人

調査方法：調査員による個別面接聴取法

回収数：1,095人

回収率：73.0%

調査期間：平成20年7月11日～7月27日

調査機関：株式会社 エスピー研

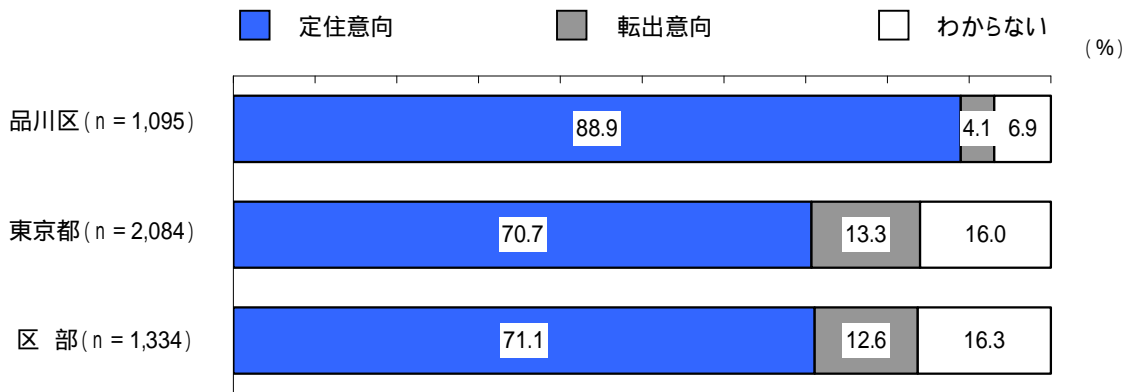
この要約版は、世論調査の結果を抜粋し、わかりやすくまとめたものです。詳しい調査結果は、第18回世論調査として、区政資料コーナー(第三庁舎3階)または、図書館で閲覧することができます。

1 定住性について

定住意向 区民の定住意向は高い

定住意向をたずねたところ、これからも引き続き品川区に「ずっと住みたい」(44.9%)と「当分は住みたい」(44.0%)を合わせると88.9%で、定住意向は高いといえます。

また、東京都、区部との比較でみると、定住意向は、東京都より18.2ポイント、区部(平均)より17.8ポイント高くなっています。



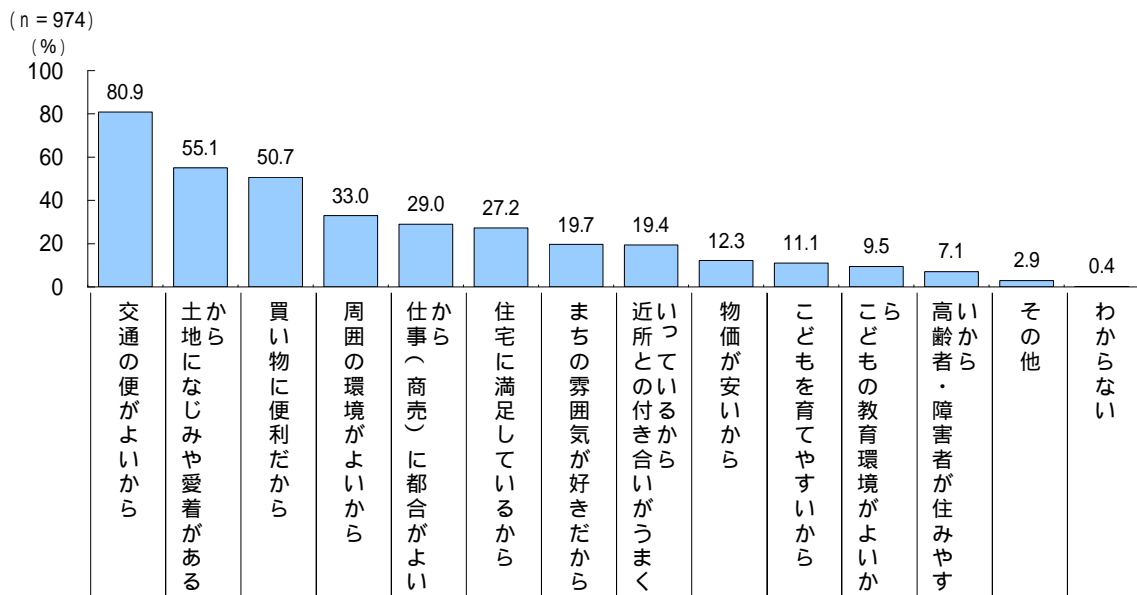
注意点

東京都と区部は地域定住意向の調査結果

資料出所：東京都生活文化スポーツ局「都民生活に関する世論調査」(平成19年)

定住意向理由 交通や買い物の便がよいという理由が上位

品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便がよいから」が80.9%と最も多く、次いで「土地になじみや愛着があるから」(55.1%)、「買い物に便利だから」(50.7%)などの順となっており、交通や買い物の便のよさが大きな理由となっています。

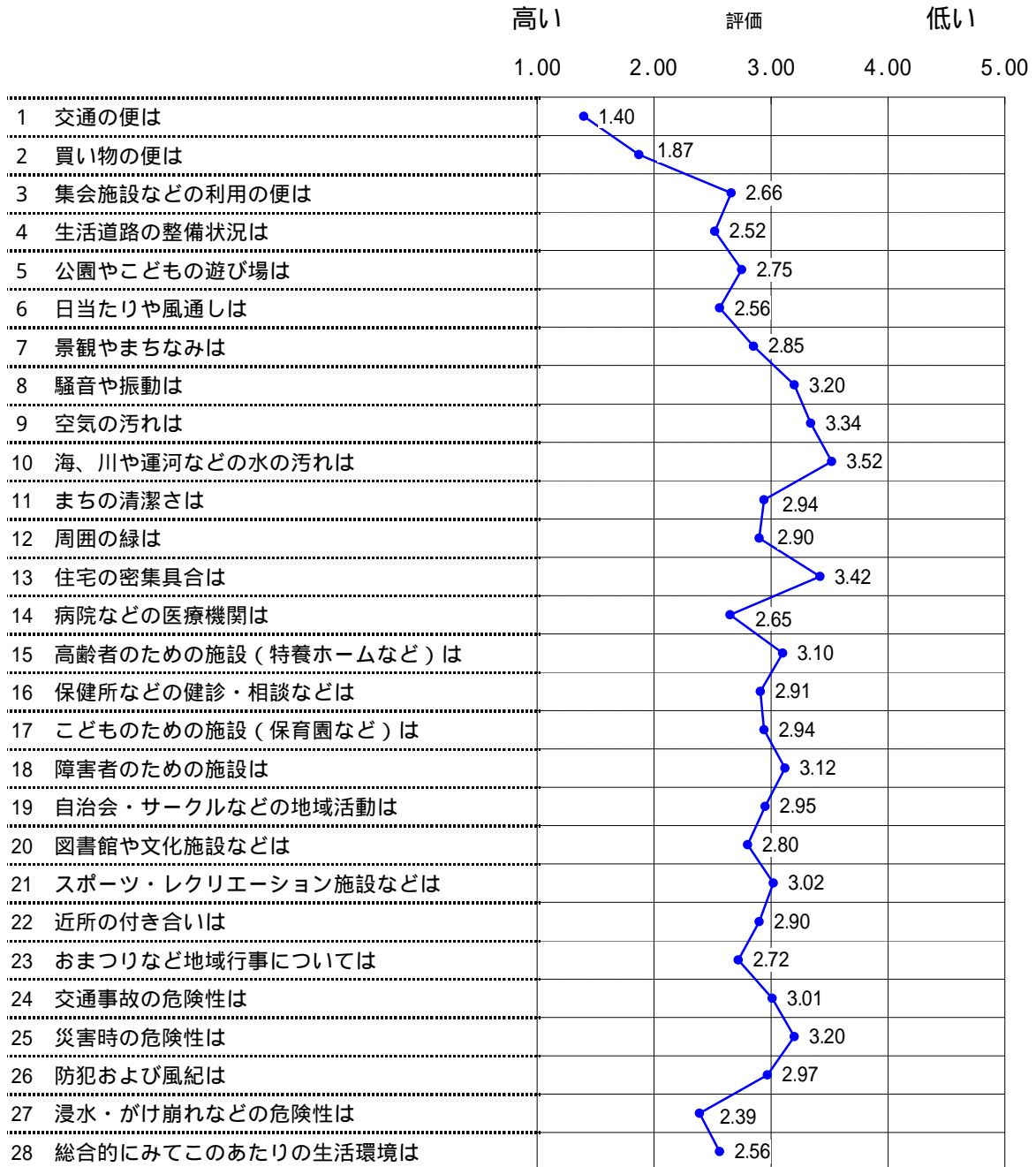


2 生活環境について

生活環境についての評価

交通や買い物の便での評価が高く、環境面での評価が低い

生活環境を評価点でみると、「交通の便」や「買い物の便」での評価が高く、「住宅の密集具合」「海、川や運河などの水の汚れ」といった環境面での評価が低くなっています。



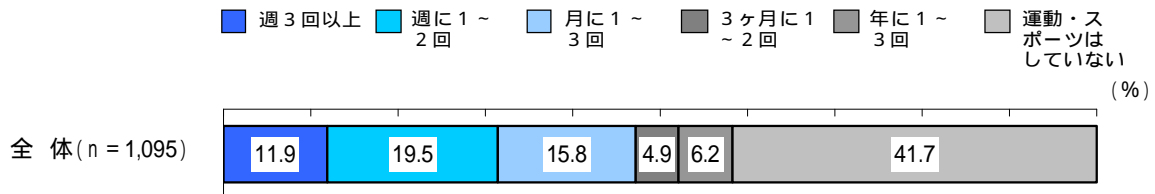
評価点 = (「良い」の回答者数 × 1点 + 「やや良い」の回答者数 × 2点 + 「普通」の回答者数 × 3点 + 「やや悪い」の回答者数 × 4点 + 「悪い」の回答者数 × 5点) ÷ 回答者数

3 スポーツと生活習慣病について

運動やスポーツを行う頻度

「週に1～2回」がほぼ2割、「運動・スポーツはしていない」が4割

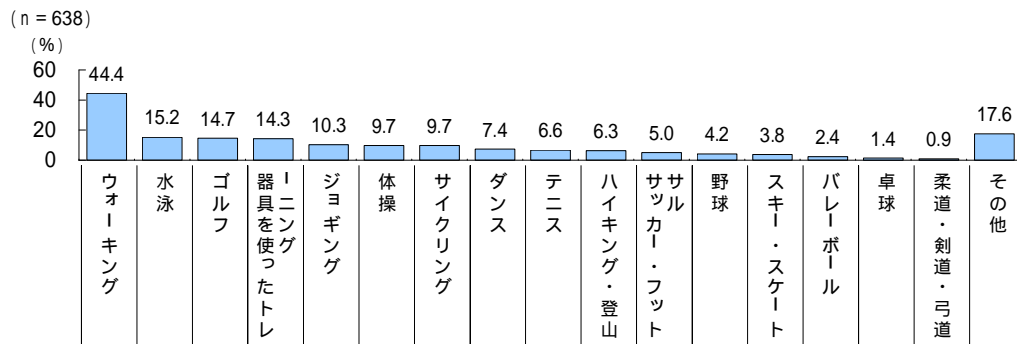
運動やスポーツを行う頻度をたずねたところ、「週に1～2回」(19.5%)、「月に1～3回」(15.8%)と続きます。また、「運動・スポーツはしていない」(41.7%)で、運動やスポーツの習慣がない人が4割いることがわかります。



日頃している運動やスポーツ

「ウォーキング」が4割半ば、次いで「水泳」「ゴルフ」と続く

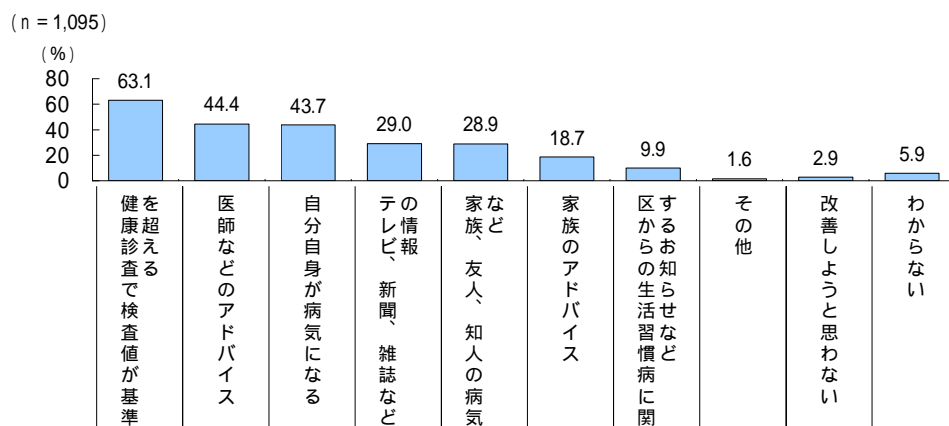
運動習慣がある方にどのような運動をするかたずねたところ、「ウォーキング」(44.4%)が最も高く、次いで「水泳」(15.2%)、「ゴルフ」(14.7%)などの順となっています。



生活習慣改善のためのきっかけ

「健康診査で検査値が基準を超える」が最も高い

生活習慣改善のきっかけは、「健康診査で検査値が基準を超える」(63.1%)が最も高く、次いで「医師などのアドバイス」(44.4%)、「自分自身が病気になる」(43.7%)などの順となっています。

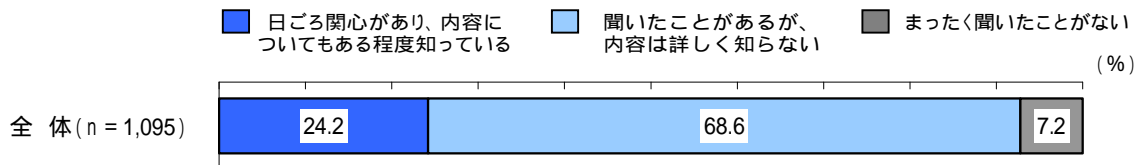


4 介護保険について

介護保険制度の認知度

「聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない」が7割弱

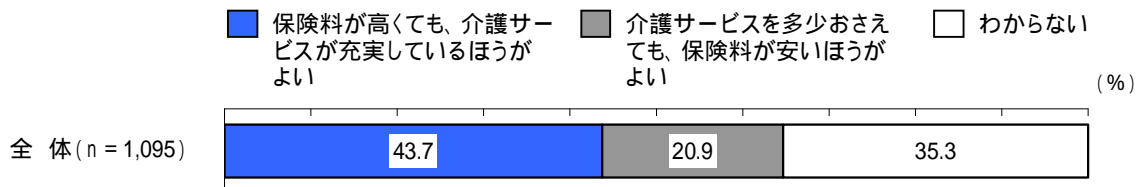
介護保険制度の認知度についてたずねたところ、「聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない」が68.6%となり、「日ごろ関心があり、内容についてもある程度知っている」は24.2%となっています。



サービスの水準と保険料の関係についての考え方

「保険料が高くて、介護サービスが充実しているほうがよい」が4割以上、「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうがよい」が2割

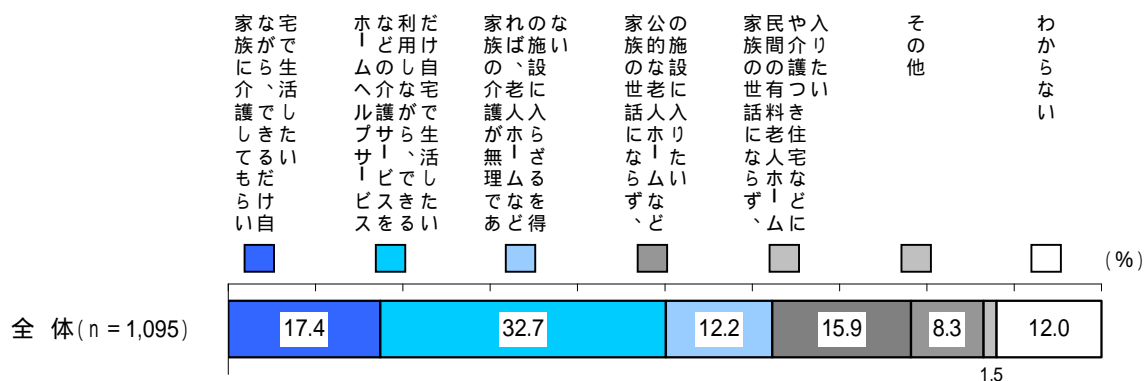
サービスの水準と保険料の関係についての考え方についてたずねたところ、「保険料が高くて、介護サービスが充実しているほうがよい」が43.7%、「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうがよい」が20.9%となっています。



老後に希望する介護の形態

6割の人が自宅での生活を望んでいる

老後に希望する介護の形態についてたずねたところ、「ホームヘルプサービスなどの介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で生活したい」(32.7%)、「家族に介護してもらいながら、できるだけ自宅で生活したい」(17.4%)、「家族の介護が無理であれば、老人ホームなどの施設に入らざるを得ない」(12.2%)を合わせると、できれば自宅で生活したいと思っている人が62.3%を占めています。

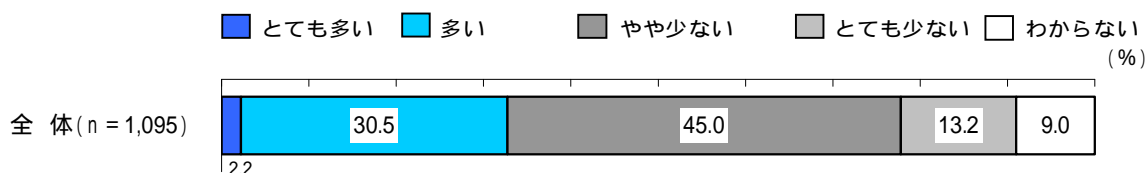


5 緑と景観について

品川区の緑は多いか

6割近くが品川区には緑が少ないと感じている

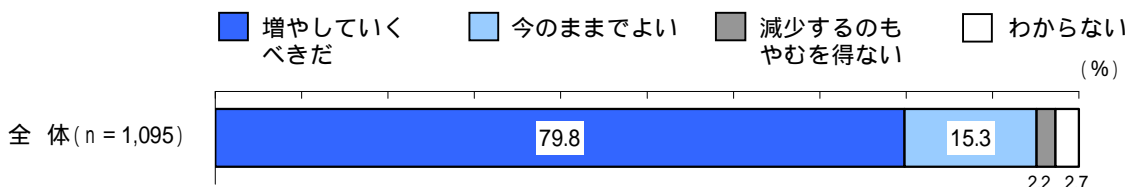
品川区の緑が多いかたずねたところ、「やや少ない」（45.0%）と「とても少ない」（13.2%）を合わせた『少ない』が58.3%となっています。



今後、区内の緑を増やしていくべきか

「増やしていくべきだ」が8割

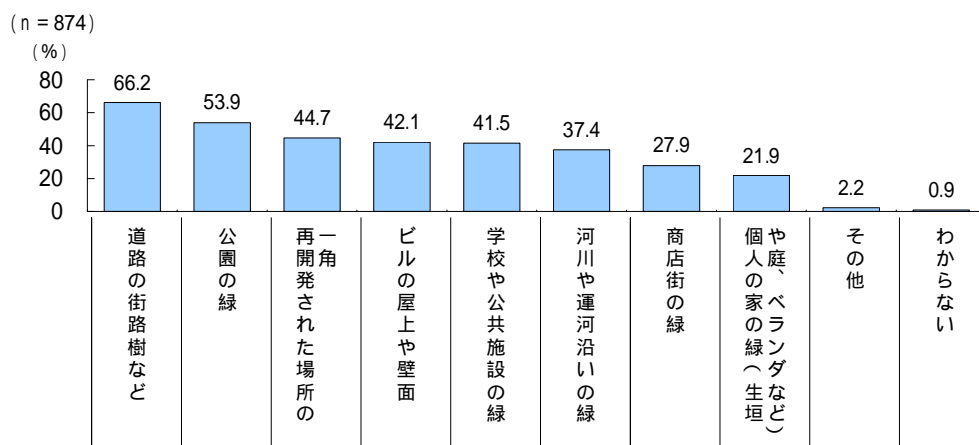
今後の区内の緑についてたずねたところ、「増やしていくべきだ」が79.8%になっており、「今のままでよい」（15.3%）、「減少するのやむを得ない」（2.2%）となっています。



緑を増やしたい場所

「道路の街路樹など」「公園の緑」「再開発された場所の一角」が上位3項目

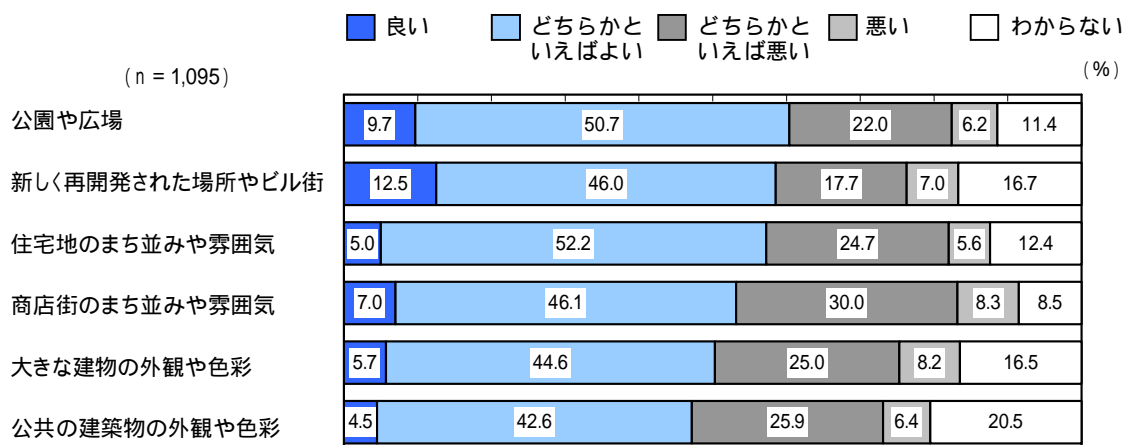
緑を増やすべきだと答えた方に増やしたい場所をたずねたところ、「道路の街路樹など」が66.2%と最も高く、次いで「公園の緑」（53.9%）、「再開発された場所の一角」（44.7%）、「ビルの屋上や壁面」（42.1%）、「学校や公共施設の緑」（41.5%）などの順となっています。



区内のまち並みや景観に対する印象

『良い』では「公園や広場」で6割、「新しく再開発された場所やビル街」、「住宅のまち並みや雰囲気」、「商店街のまち並みや雰囲気」が続く

「良い」と「どちらかといえばよい」を合わせた『良い』では「公園や広場」が60.4%と6割を超え、「新しく再開発された場所やビル街」(58.5%)と「住宅地のまち並みや雰囲気」(57.3%)が6割近く、「商店街のまち並みや雰囲気」(53.2%)が5割を超えています。

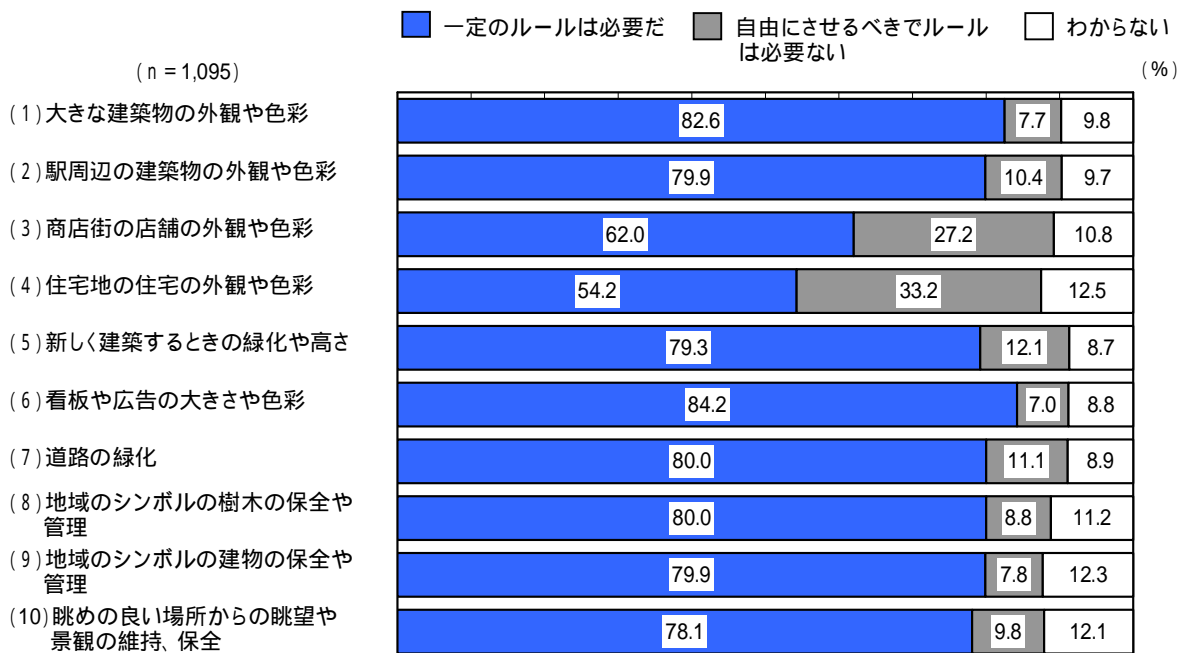


(『良い』の評価が高い上位6項目)

身近な場所における「景観ルール」の必要性

10項目のうち、8項目で「一定のルールは必要だ」が8割

「新しく建築するときの緑化や高さ」や「看板や広告の大きさや色彩」など8項目では「一定のルールは必要だ」が8割前後を占めています。また、最も低い「住宅地の住宅の外観や色彩」でも、「一定のルールは必要だ」は54.2%となっています。



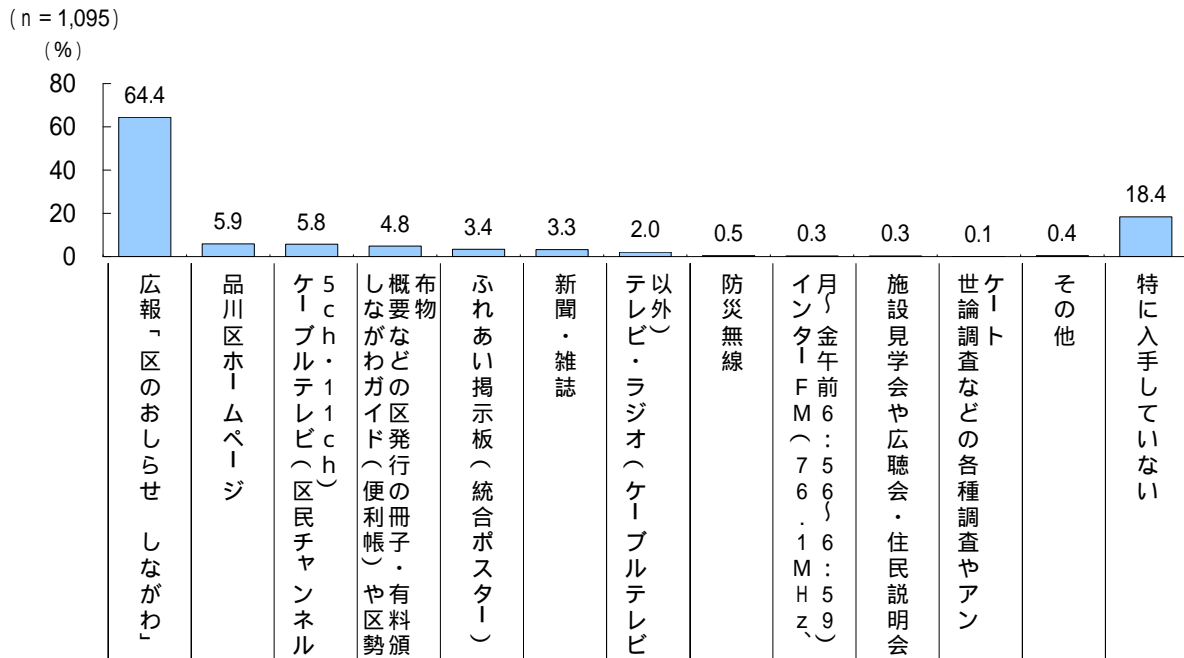
6 広報と情報化について

区に関する情報の入手先

広報「区のおしらせ しながわ」が6割以上

区に関する情報を何から得ているかたずねたところ、広報「区のおしらせ しながわ」が64.4%と最も高く、他はわずかとなっています。

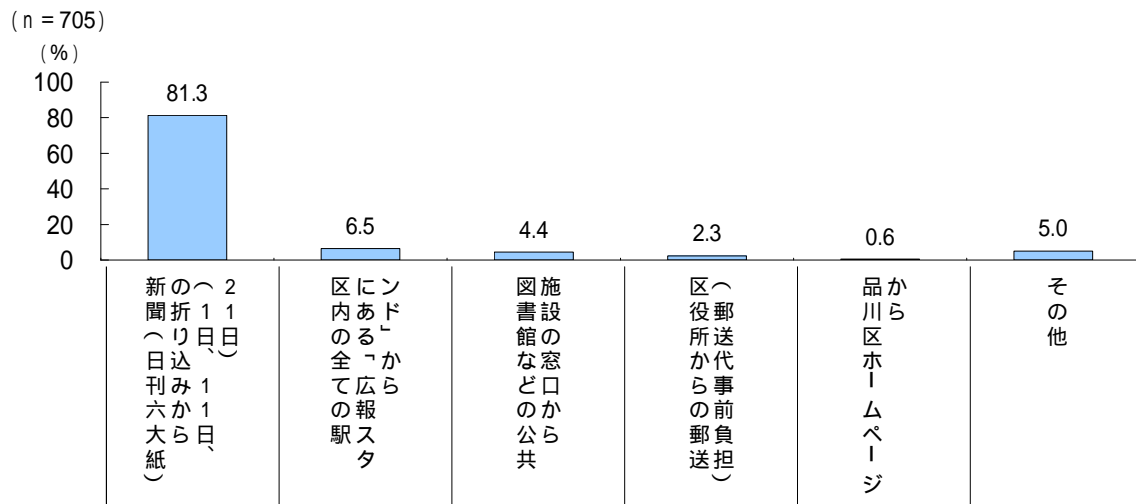
また、「特に入手していない」(18.4%)が2割近くとなっています。



広報「区のおしらせ しながわ」の入手先

「新聞(日刊六大紙)の折り込み(1日、11日、21日)から」が8割以上

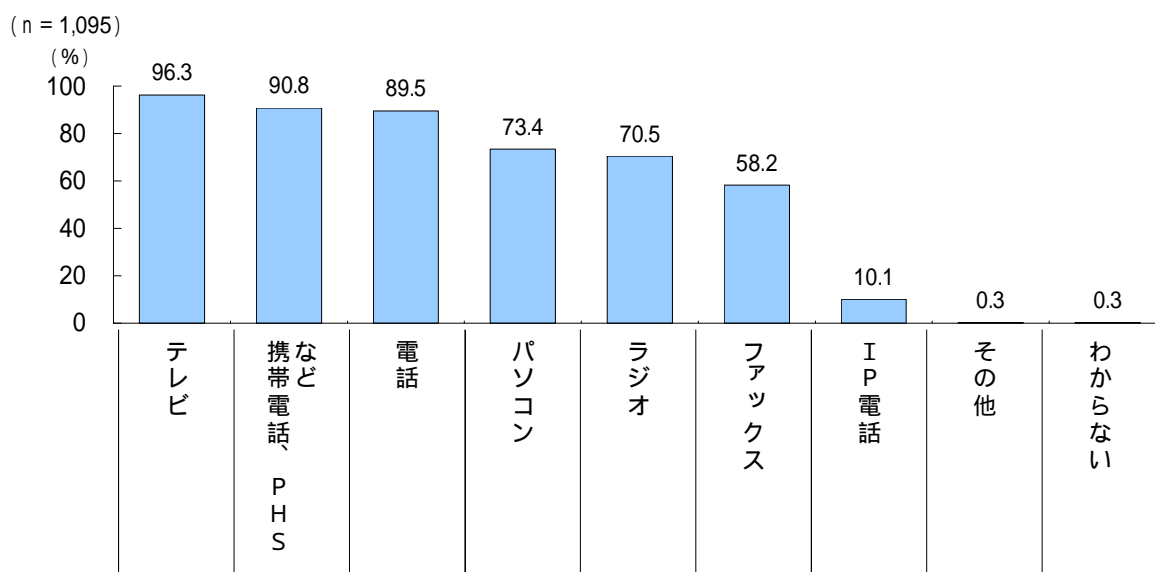
区に関する情報を広報「区のおしらせ しながわ」で入手している方に入手先をたずねたところ、「新聞(日刊六大紙)の折り込みから(1日、11日、21日)」が81.3%と最も高くなっています。



家庭で保有している通信機器

「テレビ」、「携帯電話、PHSなど」、「電話」の保有が9割

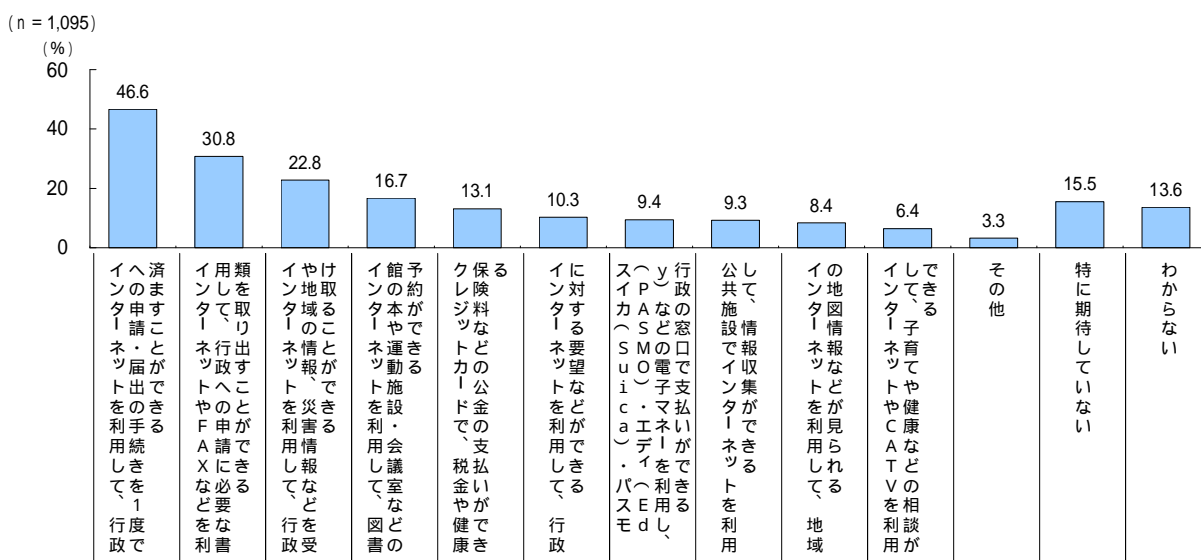
家庭で保有している通信機器は、「テレビ」が96.3%と最も多く、次いで「携帯電話、PHSなど」(90.8%)、「電話」(89.5%)、「パソコン」(73.4%)などの順となっています。



情報化に対応した行政サービスへの期待

「インターネットを利用して、行政への申請・届出の手続きを1度で済ませることができる」が5割近い

情報化に対応した行政サービスで期待するものは、「インターネットを利用して、行政への申請・届出の手続きを1度で済ませることができる」(46.6%)が最も高く、次いで「インターネットやFAXなどを利用して、行政への申請に必要な書類を取り出すことができる」(30.8%)、「インターネットを利用して、行政や地域の情報、災害情報などを受け取ることができる」(22.8%)、「インターネットを利用して、図書館の本や運動施設・会議室などの予約ができる」(16.7%)などの順となっています。

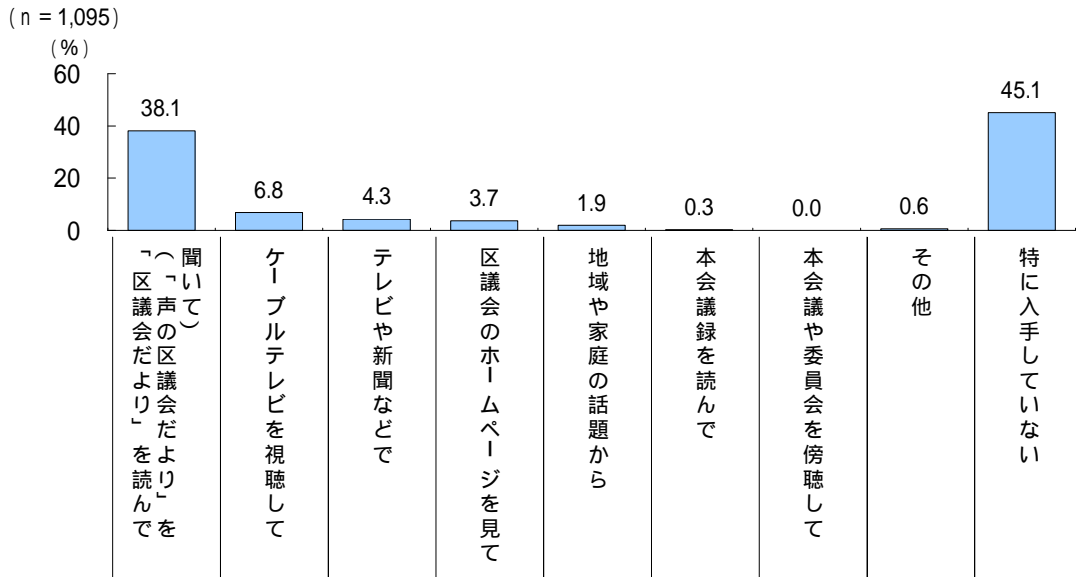


7 区議会の広報について

区議会の情報の入手先

「区議会だより」が4割近い

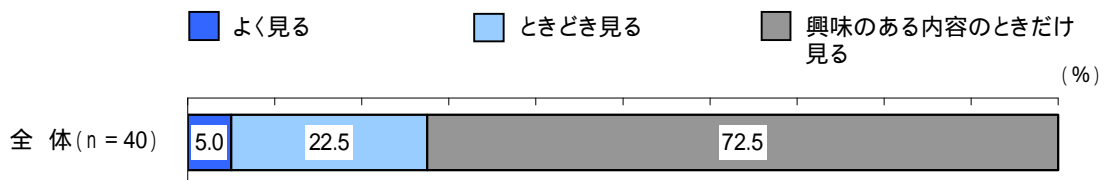
区議会の情報については「『区議会だより』を読んで（「声の区議会だより」を聞いて）」（38.1%）が最も多くなっています。



区議会ホームページの閲覧度

「興味のある内容のときだけ見る」が7割

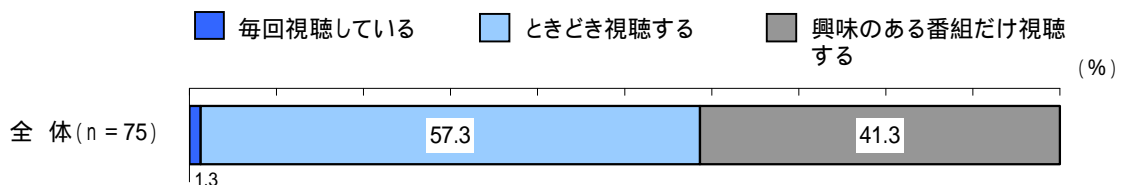
区議会のホームページを見る頻度をたずねたところ、「興味のある内容のときだけ見る」が72.5%、「ときどき見る」が22.5%となっています。



区議会に関する番組の視聴頻度

「ときどき視聴する」が6割近い

区議会に関する番組の視聴頻度をたずねたところ、「ときどき視聴する」が57.3%、「興味のある番組だけ視聴する」が41.3%となっています。

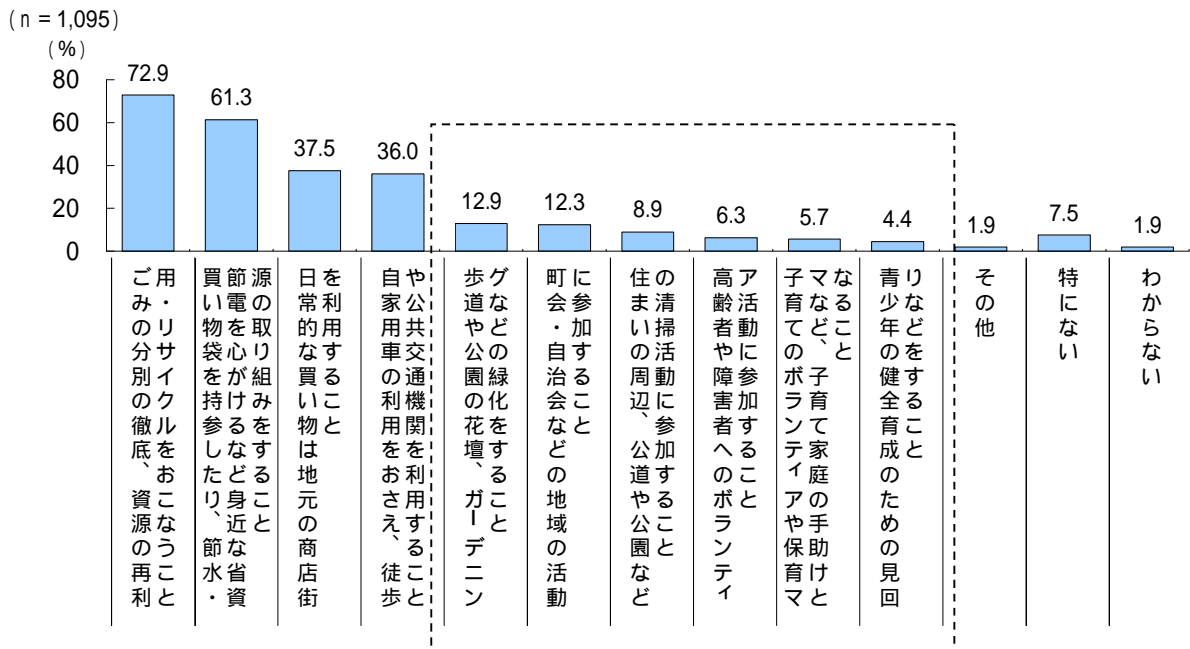


8 よりよいまちづくりについて

日頃心がけていることや今後取り組みたいこと

「ごみの分別の徹底、資源の再利用・リサイクルをおこなうこと」が7割超

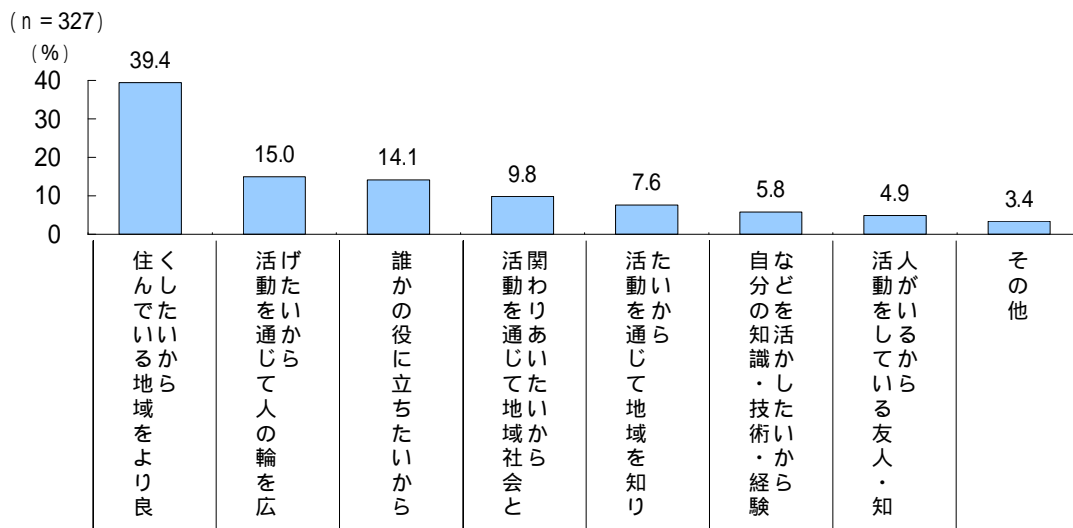
「ごみの分別の徹底、資源の再利用・リサイクルをおこなうこと」(72.9%)が最も高く、次いで「買い物袋を持参したり、節水・節電を心がけるなど身近な省資源の取り組みをすること」(61.3%)、「日常的な買い物は地元の商店街を利用すること」(37.5%)などの順となっています。



心がけている、あるいは取り組みたいと思う理由

「住んでいる地域をより良くしたいから」がほぼ4割

上の質問で点線(---)部分の項目を答えた方に、その理由をたずねたところ、「住んでいる地域をより良くしたいから」が39.4%と最も高くなっています。

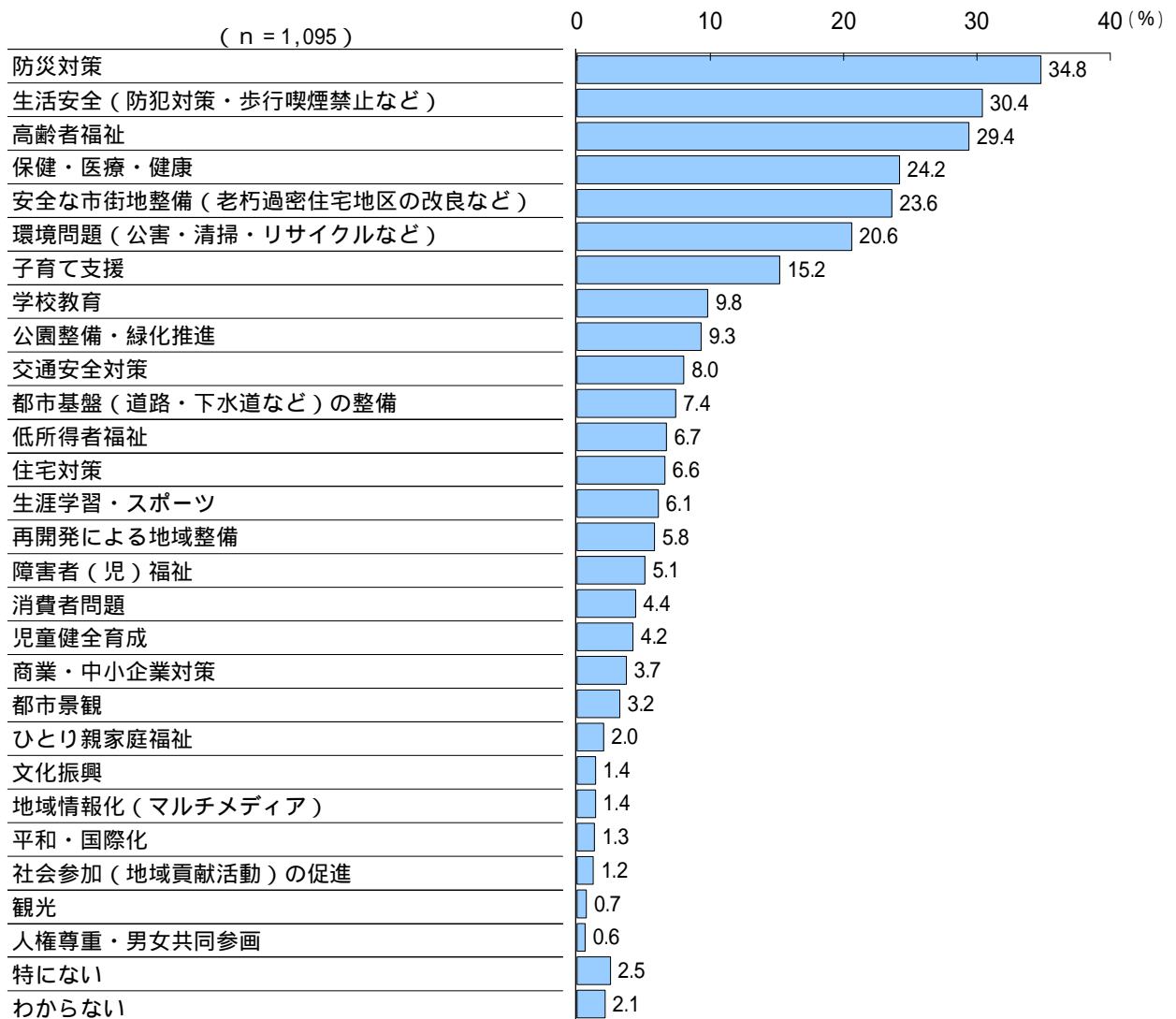


9 重点施策について

今後特に力を入れてほしい施策

「防災対策」、「生活安全（防犯対策、歩行喫煙禁止など）」、「高齢者福祉」が上位3項目

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「防災対策」(34.8%)が最も多く、次いで「生活安全(防犯対策、歩行喫煙禁止など)」(30.4%)、「高齢者福祉」(29.4%)などの順となっています。



第18回品川区世論調査 要約版

2008（平成20）年12月

発行 品川区企画部広報広聴課

品川区広町2-1-36

03(5742)6643(直通)

実施 株式会社エスピー研 調査事業部

東京都千代田区飯田橋3-11-20

03(3239)0071(代表)

古紙を配合した紙を使用しています